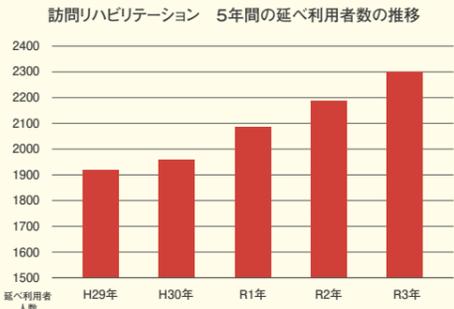


数字でみる錦海リハ

訪問リハビリテーションにおける5年間の延べ利用者数の推移

図は、当院訪問リハビリテーションの1年ごと、過去5年間の延べ利用者数の推移です。5年前の平成29年は1918人、昨年令和3年は2299人と増加傾向となっています。令和2年以降、コロナ禍の到来があり、ご自宅でのリハビリ希望が増えたため、増加に拍車がかかった感がありますが、当事業所が開設よりおよそ15年を経過し、地域の皆様を知ってもらえ、ご期待頂けるようになったことが増加につながったと考えています。今後も地域の皆様のご期待に答えることができるよう、スタッフ一同日々研鑽を重ね、質の向上に努めてまいります。



専門雑誌・書籍掲載

野坂進之介(理学療法士)、今田健(共同)(理学療法士・リハビリ技術部次長)
Effects of cognitive dysfunction and dual task on gait speed and prefrontal cortex activation in community-dwelling older adults
Aging, Neuropsychology and Cognition Vol. 29(2), 2022.3.4
角田賢(医師・病院長)
2022年診療報酬改定に向けた「回復期リハビリ病棟」の経営戦略「錦海リハビリテーション病院におけるリハビリの取り組み【その1】」
Visionと戦略2022年4月号、保健・医療・福祉サービス研究会、2022.3.20

外部講演

北山朋宏(作業療法士・リハビリ技術部課長)『社会との繋がりをつくるため、作業療法士にできること』
第17回鳥取県作業療法学会、鳥取県作業療法士会主催、2021.10.2、オンライン開催
遠藤美紀(理学療法士)『フレイルに関連した栄養と口の健康の評価』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.5、米子市
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『いつまでもおいしく食べるために』
後期高齢者口腔機能向上支援事業、米子市主催、2021.10.7、米子市
横木貴史(理学療法士)、板持流宣(理学療法士)、野坂進之介(理学療法士)『フレイルに関連した栄養と口の健康の評価』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.8、米子市
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.11、米子市
鳥谷香蓮(理学療法士)『フレイル予防に重要な栄養と口の健康』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.12、米子市
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『臨床研究の実際』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2021.10.15、オンライン開催
横木貴史(理学療法士)、松本昌樹(理学療法士)、松原岳洋(理学療法士)『フレイル予防に重要な栄養と口の健康』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.15、米子市
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『いつまでもおいしく食べるために』
後期高齢者口腔機能向上支援事業、米子市主催、2021.10.19、米子市
足立睦未(理学療法士)『フレイルおよび認知症予防のカギとなる「運動」について学ぶ』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.19、米子市
野坂進之介(理学療法士)、板持流宣(理学療法士)、松本昌樹(理学療法士)『フレイルおよび認知症予防のカギとなる「運動」について学ぶ』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.22、米子市
遠藤美紀(理学療法士)『フレイルのための身体運動』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.26、米子市
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『いつまでもおいしく食べるために』
後期高齢者口腔機能向上支援事業、米子市主催、2021.10.27、米子市
原大樹(理学療法士・リハビリ技術部主任)、横木貴史(理学療法士)、板持流宣(理学療法士)『フレイルのための身体運動』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.10.29、米子市
鳥谷香蓮(理学療法士)『フレイルと脱水症』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.2、米子市
横木貴史(理学療法士)、野坂進之介(理学療法士)、松本昌樹(理学療法士)『フレイルと脱水症』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.5、米子市
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.8、米子市
足立睦未(理学療法士)『転倒・転落を知り転ばない身体をつくる』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.9、米子市
原大樹(理学療法士・リハビリ技術部主任)、横木貴史(理学療法士)、板持流宣(理学療法士)『転倒・転落を知り転ばない身体をつくる』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.12、米子市
鳥谷香蓮(理学療法士)『フレイルにつながる腰痛への対策』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.16、米子市
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『症例・事例報告の書き方』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2021.11.19、オンライン開催
松原岳洋(理学療法士)、横木貴史(理学療法士)、板持流宣(理学療法士)『フレイルにつながる腰痛への対策』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.19、米子市
上村順一(理学療法士)、松原岳洋(理学療法士)、野坂進之介(理学療法士)、横木貴史(理学療法士)『身体介護の方法』
失語症者向け意思疎通支援者養成研修、鳥取県主催、2021.11.21、境港市
星山望(作業療法士)『在宅でのリハビリテーション』
在宅医療推進のための看護師育成支援事業、鳥取大学主催、2021.11.29、米子市
足立睦未(理学療法士)『歩く力を鍛えてのびそう健康寿』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.11.30、米子市
野坂進之介(理学療法士)、松本昌樹(理学療法士)『歩く力を鍛えてのびそう健康寿』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.12.3、米子市
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『しっかり噛んで飲み込んでおいしいものを食べて健康長寿』
後期高齢者口腔事業フォローアップ教室、米子市主催、2021.12.3、米子市
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『背景・問題提起の設定』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2021.12.10、オンライン開催
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.12.13、米子市
遠藤美紀(理学療法士)『フレイル予防講座振り返りまとめ』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.12.14、米子市
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『しっかり噛んで飲み込んでおいしいものを食べて健康長寿』
後期高齢者口腔事業フォローアップ教室、米子市主催、2021.12.16、米子市
原大樹(理学療法士・リハビリ技術部主任)、松本昌樹(理学療法士)『フレイル予防講座振り返りまとめ』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2021.12.17、米子市
北山朋宏(作業療法士・リハビリ技術部課長)『臨床実習における管理・運営』
令和3年度第1回鳥取県臨床実習指導者講習会、日本作業療法士協会主催、2021.12.18-19、オンライン開催

川上紘司(作業療法士)『臨床実習指導方法論』
令和3年度第1回鳥取県臨床実習指導者講習会、日本作業療法士協会主催、2021.12.18-19、オンライン開催
松原岳洋(理学療法士)『フレイルに関連した栄養と口の健康の評価』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.1.4、米子市開催
野坂進之介(理学療法士)『フレイルに関連した栄養と口の健康の評価』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.1.7、米子市開催
岩田久義(言語聴覚士・リハビリ技術部主任)『しっかり噛んで飲み込んでおいしいものを食べて健康長寿』
後期高齢者口腔事業フォローアップ教室、米子市主催、2022.1.21、米子市
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.1.17、オンライン開催
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『clinical questionの設定』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2022.1.21、オンライン開催
藤井春美(看護師・副院長)『新型コロナウイルス感染症対応とマネジメント』
山陰言語聴覚士協会講演会、山陰言語聴覚士協会主催、2022.1.29、オンライン開催
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.2.14、オンライン開催
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『論文検索の方法』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2022.2.18、オンライン開催
足立睦未(理学療法士)『フレイルの予防につながる転倒・転落の知識』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.2.22、オンライン開催
門脇康浩(言語聴覚士)『オーラルフレイルについて』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.2.22、オンライン開催
門脇康浩(言語聴覚士)『オーラルフレイルについて』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.2.25、オンライン開催
今田健(理学療法士・リハビリ技術部次長)『論文の読み方』
研究サポート事業2021、日本地域理学療法学会主催、2022.3.5、オンライン開催
井後雅之(医師・名誉院長)『フレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.11、オンライン開催
仙田祐子(薬剤師・薬局長)『お薬と上手にお付き合い』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.11、オンライン開催
木嶋恵美(管理栄養士)『バランスよく食べてフレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.14、オンライン開催
井後雅之(医師・名誉院長)『フレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.15、オンライン開催
仙田祐子(薬剤師・薬局長)『お薬と上手にお付き合い』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.15、オンライン開催
角田賢(医師・病院長)『2022年度診療報酬改定について』
第36回松江市脳卒中地域連携バス合同委員会、松江市脳卒中地域連携バス合同委員会主催、2022.3.16、オンライン開催
角田賢(医師・病院長)『フレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.18、オンライン開催
角田賢(医師・病院長)『フレイル予防』
米子市フレイル予防事業(令和3年度法人プロジェクト)、米子市主催、2022.3.22、オンライン開催
角田賢(医師・病院長)『山陰における脳卒中回復期の現状、地域連携バス運用の問題点・課題について』
松江脳卒中地域連携を考える会～健康寿命延伸に向けて～、第一三共株式会社主催、2022.3.25、オンライン開催

学会発表

板持流宣(理学療法士)『脳血管疾患を持つ、行動の予測が困難であった症例に対する転倒防止の取り組み』
清水徹(理学療法士)『脳卒中を発症した患者におけるサルコペニアの合併が在院日数、FIM effectivenessに及ぼす影響』
竹内茂伸(言語聴覚士・副院長)『廃棄する車椅子を回収し、SDGsに繋げる法人内の取り組み』
リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021、2021.11.18-19、兵庫県・オンライン開催
遠藤美紀(理学療法士)『退院後訪問において在宅生活での歩行の機会と排泄方法が病棟と変化していた症例』
鳥谷香蓮(理学療法士)『法』全体で取り組む、SDGsに向けた廃棄する車いすのリユース活動』
第8回日本地域理学療法学会学術大会、2021.12.4-5、オンライン開催
西垣美紅(作業療法士)『介助方法を統一することで、動作学習を円滑に実施し、更衣動作の定着を図ることが出来た一症例』
前原里帆(作業療法士)『上肢中等度麻痺患者へ課題指向型訓練を実施した際、自己評価に難化した一症例』
福田由美子(看護師)『急性期病院と回復期病院で統一した指導を行うための、脳卒中再発予防パレット作成までの取り組み』
回復期リハビリテーション病棟協会 第39回 研究大会 in 東京、2022.2.4-5、東京都・オンライン開催

※氏名、職員の肩書は掲載、開催時点のものであり現在は変更があります。

診療方針：わたくしたちは回復期リハビリテーション医療と地域連携を通して患者さんの社会参加を支援します。

錦海リハビリテーション病院
〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-4-5
TEL 0859-34-2300【代表】
FAX 0859-34-2303



KINKAI NEWS

REHABILITATION HOSPITAL



錦海リハビリテーション病院ニュース

発行：社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院

TEL：0859-34-2300【代表】
E-mail：kinkai-hp@kohoen.jp
URL：https://www.kinkai-rehab.jp



SPECIAL 最前線 1

新たな人財とともに

こうほうえんの職員は「人材」でなく「人財」

この春、錦海リハビリテーション病院に新入職員がやってきました。中には21世紀になってから生まれました、という若い世代もいました。彼女が生まれたときにはすでに私は回復期リハビリテーション病棟専従医として仕事をしていたことに少なからず衝撃を受けました。

社会福祉法人こうほうえんでは職員のことを「人材」ではなく「人財」と表現しています。働いている職員は法人の財産であるということを表している言葉です。高度先進医療を行う急性期病院とは異なり、回復期リハビリテーション病院で提供する医療サービスの殆どが人の手によって行われます。よりよい医療を提供するために最も重要なことは「人の育成」です。法人の財産である職員をより価値の高い人財とできるかどうかはこの育成にかかっています。



新規採用者研修 角田賢病院長による講義「錦海リハビリテーション病院と地域医療の今後」



新規採用者研修 歯科衛生士・言語聴覚士の指導による口腔ケア実習

新しく仲間となってくれた職員たちをあつく熱して「新たな人財」へ

コロナ禍で県外移動が厳しく制限され、学会参加、研修などがほとんど不可能な状態がおよそ2年間続いています。これを補うためにいろいろな学会、協会がWebを用いた研修を実施するようになりました。内容も充実している上、オンデマンドでの配信も増えてきました。従来であれば、東京や大阪といった大都市に出かけなければ聞くことのできなかった講演も地元でいたままで参加できるようになりました。回復期リハビリテーション病棟協会の研究大会もこれまでであれば、病棟の限られた人数しか現地参加できませんでしたが、院内や自宅で職員全員が勉強できる環境ができるようになるのは「コロナ前」には想像もできませんでした。

学習できる環境は、ICT技術の進歩もあり、どんどん整ってきました。しかしこのWebでの研修が普及する中、「受け身」な姿勢ではだめなのではないかと感じるようにもなりました。勉強したい、もっと自分の力を伸ばしたい、回復期リハビリテーション病棟の質を上げていきたいという気持ちに応えるために病院内の先輩も各学会やリハビリテーション関連団体の研修担当者も様々な工夫をしています。これを活かすには各人の積極性が重要ではないでしょうか。

研修の重要性について書いていく中、石川誠先生が「鉄は熱いうちに打つんじゃない、熱くして打つんだ」とおっしゃられていたのを思い出しました。新しく仲間となってくれた職員たちをあつく熱して「新たな人財」へと育てられるように私も一緒に熱くなっていきます。

社会福祉法人 こうほうえん
錦海リハビリテーション病院
病院長 角田 賢

SPECIAL 最前線 2

自治体事業としては全国的にも稀な多職種で臨んだフレイル予防事業（令和3年度こうほうえんプロジェクト）

米子市からの受託事業であるフレイル予防事業を令和3年9月～令和4年3月の期間にて実施され、我々は主に淀江地区の住民に対して実施しました。全国的にフレイル予防事業は多くの自治体にて実施されていますが、本事業は下記3点について従来の刷新を図ることができたと感じています。



井後雅之名誉院長、看護師、薬剤師らによるオンライン講義

・「学んで予防するフレイル」をテーマに、専門職による講義とエクササイズを組み合わせ、前後の学習効果を国際的な評価尺度を用いた。

SPECIAL 最前線 3

訪問リハビリテーションのご紹介

訪問リハビリテーションとは、ご利用者の自宅を訪問しリハビリテーションを行うサービスです

訪問リハビリテーションとは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がご利用者の自宅を訪問し、心身の機能の維持・回復、日常生活の自立を支援するために、各ご利用者へ適したリハビリテーションや介護されている家族へのアドバイスや相談を行う介護保険のサービスです。

具体的には、日常生活動作（起き上がり、歩行、排泄、入浴など）の練習や介護方法の伝達、摂食・嚥下（飲み込み）の練習、失語症の方へ会話や読み書きの練習を行っています。また、家事動作や外出の練習など、社会参加に向けて、趣味・関心を生かした生活習慣の再獲得を行います。自宅での生活をスムーズに行えるように住宅改修や福祉用具に対する提案や助言などを行っています。



言語聴覚士によるコミュニケーション手段の練習



作業療法士による調理等の家事練習



理学療法士による起居、起立、移乗などの基本動作練習

・自治体事業として全国的にも稀な7職種（医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士）による事業介入。

・コロナ禍において事業が滞ることなく提供されるよう、オンライン講義とモニター用カメラの複数台陣配置によるエクササイズのオンライン指導。



理学療法士によるオンラインエクササイズ

角田賢病院長によるオンライン講義

事業提供後に評価した学習効果の指標においては、参加者の平均は日本人の平均と言われる25点を上回る30.7点を獲得した。認知機能検査については、カットオフ値以上の割合が33%から61%に増加し改善を認めた。他、「ころばない自信」や「歩くチカラ」などが統計学的有意差をもって改善しました。

本事業は米子市役所内より関心をもって記者クラブに広報され、3月15日には県議会議員3名による視察を受けました。各職種の皆さんのおかげで従来とは違う事業に取り組むことができましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

リハビリテーション技術部兼法人リハビリテーション統括部次長
理学療法士 今田健

現在の状態に即したリハビリテーションサービスを提供します

退院後で自宅の生活で不安の際は、退院直後からご自宅へ訪問し、ご自宅の環境で動作の練習や運動を継続して行うことができます。また、退院直後以外でも体力や生活動作能力に低下を感じている方、リハビリテーションを受けたいけれど病院や施設への通院が困難な方、嚥下や会話機能の低下を感じられる方などに、現在の状態に即した適切なリハビリテーションサービスを提供いたします。

訪問リハビリ専任の療法士を12名配置しています

当院の訪問リハ担当、理学療法士3名、作業療法士5名、言語聴覚士4名が対応します。県内の訪問リハ事業所の中では、多くの言語聴覚士が配属されているのが特徴です。

まずは、担当のケアマネジャーか、当事業所（TEL:0859-34-2339）までお気軽にご連絡、ご相談ください。



TOPICS 01

回復期リハビリテーション病棟協会 第39回研究大会in東京にて 優秀演題賞を受賞

令和4年2月4日（金）・5日（土）に開催された、回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会in東京にて、当院看護部と鳥取大学医学部附属病院看護部との共同研究「急性期病院と回復期病院の連携～脳卒中再発予防パンフレット作成～」が優秀演題賞に選定されました。

急性期から回復期までのシームレスで統一した脳卒中再発予防指導を行うことを目的に、令和2年より始めた急性期病院との統一パンフレット作成とその運用過程を報告し、脳卒中再発予防に向けた他にない取り組みとして評価いただきました。

この度の受賞経験も励みにし、地域の脳卒中再発予防の更なる充実を目指すと共に、地域貢献に資する新たな医療連携の取り組みに挑戦し続けてまいります。



筆頭演者 福田由美子 看護師によるオンライン発表

TOPICS 03

令和3年度医療安全職員全体研修 「コロナ禍におけるBLS研修の実際」

当院では、開院当初より全職種合同で「一時救命処置（BLS）」研修を毎年必須研修として実施しています。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い感染予防対策として、研修会場には職員8名を最大とし、実技演習が15分以内に終了するよう企画設定し、約1週間かけ実施しております。

厚生労働省からの、コロナ感染症を疑い“呼吸確認時顔を近づけない、人工呼吸は実施せず、胸骨圧迫だけを続ける”といった新しい情報も訓練に反映させ、知識技術の習得につなげております。

現在、病院内設置のAEDは西部消防署所有のものと同じ機器に更新され、スムーズな受け渡しも可能となっております。今後も全職員が同じレベルで救命処置が可能となるよう安全管理のための職員研修として継続してまいります。



全職員実施のBLS研修の様子

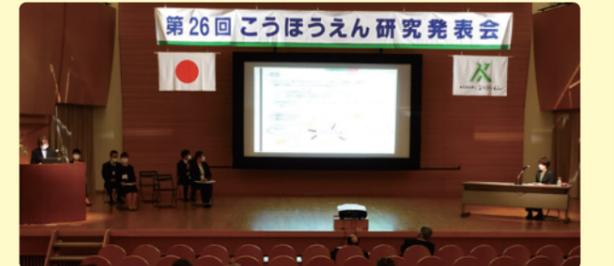
TOPICS 02

第26回こうほうえん法人研究発表会（ハイブリッド・オンライン開催）

令和4年3月25日（金）、第26回こうほうえん法人研究発表会が開催されました。新型コロナウイルスにより、昨年は完全オンラインでの開催を余儀なくされましたが、感染対策を十分に講じ、これまで会場としていました米子コンベンションセンターを再びメイン会場に、今年はオンラインによる参加も可能なハイブリッド形式で開催いたしました。

また、本大会でのもう一つの新たな試みとして、抄録・発表の「いいね♡」投票と称する全職員参加型のオンライン投票も導入し、職員それぞれが優秀演題の選定プロセスに一役買いました。

本大会も82演題の発表を通じ、日頃の実践や研究成果について意見を交わすことができました。コロナ禍にあっても創意工夫を凝らし、職員皆で研鑽を積んでいきたいと思っております。



ハイブリッド・オンラインメイン会場 米子コンベンションセンター小ホール

TOPICS 04

季節の特別メニューのご紹介

当院では、入院中の患者さんにその時々季節も味わっていただけるよう、季節に応じた食事の提供を続けております。

節分には、寿司の盛り合わせ（巻き・穴子・マグロ・サーモン）、天ぷら（海老・南瓜・オクラ）、松風焼き、茶碗蒸し、赤だし、パンナコッタを提供いたしました。当日は「どれもおいしかった」「ごちそうだった」などのご意見とともに、多くの方の笑顔を見ることができ、調理師に腕を振るってもらった甲斐があったと感じました。

このような季節の特別メニューも含めまして、今後も入院生活の楽しみや、リハビリへの活力に繋がるような食事の提供に取り組んで参ります。食事へのご意見やご要望はお気軽に病棟管理栄養士までお寄せください。



節分にあわせて調理師が考案した特別メニュー